

2015.6.30

平成27年度全国知的障害関係施設長等会議

第2分科会 社会を支える障害者の就労支援の構築をめざして

「障がいのある人の働く未来のかたち」

～在宅就業障害者支援制度を活かして、企業と共につくる新しい働く場と働き方～

社会福祉法人維雅幸育会

ひまわりデイセンター「ふっくりあ」

常務理事 奥西利江

1.はじめに

- はじまりは小規模作業所から
- ・「理解がない」と「知らない」ことは違う（裁判を通じて学んだこと）
- 福祉サービス事業者として、A型・B型・就労移行・自立訓練・生活介護の多様な機能の事業を実施し「働くこと・暮らすこと」の選択肢と支援のバリエーションを増やす

2.地域の中で魅力ある活動をつくる

- 「人は一定の年齢になったら働くもんだ。でも、ただ働けばいいわけではない。人は働くわけや意味があるから働くのだ」という恩師の言葉を大切に…
- 就労支援サービスとして、当たり前前に「一般就労」と「工賃向上」を考える
- 就労移行支援のために、離職率と離職理由に向き合う
- 就労継続のために、今よりもよりよい働き方を模索し続ける

障がいのある人たちが働ける場所として 「特例子会社」をめざした頃のこと

- 特別な場所で、特別な働き方をすることに迷う心
- してもしなくてもいいような仕事は仕事ではないと思う心
- 雇用率達成以外の付加価値のあるものを見出せなかった未熟な心
- 「特例子会社」でなく、施設外就労の形で一般企業の中に就労継続事業をつくる

企業の中でのグループ就労







3.株式会社ミルボンの中に、就労継続A型・B型「びいはいぶ」があるということ

- まずは、高い工賃（70,000円）をめざすB型からの出発
- 本業の本ラインを請け負える事業所になることを目標に！！
- 働く訓練よりも、働ける環境づくりに重きをおく
- 障がいのある人も、企業も、社会福祉法人も、みんながWINWINになるように

- 障がいのある人とない人が共に、企業の目的を達成するために協働できること
- 高い工賃を確保できるようになったB型をA型に育てる
- ミルボンとびいはいぶの取り組みを、周りの企業にモデルとして知ってもらおうこと

- 「施設外就労」を「直接雇用」へつなぎ、更に、定着支援の可能性を広げる
 - 訓練→雇用→定着支援の緩やかなステップアップと同様に、一般就労の時期を終えた方の離職後の就労支援も緩やかにフェードアウトしていけるような場としても・・・
- (例えば、一般就労→A型→工賃の高いB型→B型→生活介護等)

4.就労継続A型・B型「びいはいぶ」の概要

- 利用者 現員20人(就労移行事業利用者の施設外就労含む)
(療育手帳 重度8人・中度11人・軽度1人)
(障害程度区分 ①1 ②8 ③5 ④5 ⑤1 ⑥0)
- スタッフ
指導員4人・事務員1人
補助指導員12人(内、就労支援会計分9人)
- 活動内容
企業等に利用者とスタッフがユニットを組み働く施設外グループ就労活動
- 株式会社ミルボンでのヘアケア美容品の包装・梱包ライン作業
28,922千円／年
- 伊賀市指定管理制度での国の重要文化財「俳聖殿」の清掃管理
1,400千円／年

- 在宅就業支援団体の登録（平成24年10月登録）と活用

- ・ 工賃向上の促進のために、
特例調整金と雇用率の選択制に

- 中間就労の場としての活用

（高齢者・就労困難者・生活困窮者・障害のある子を持つ母親の就業支援）

5.よりよいA型・B型の姿を考えて・・・

- 責任のある雇用と工賃支給のために持続可能な仕事の確保をすること
- 働き続けるために必要なことを、いつも、何度でも確認することを忘れないこと
- 自分を評価してもらえる仕事があるということ
- 「あなたが必要」というメッセージを感じれること
(やりがい・達成感・収入等)
- 職場の中に、困った時に相談できる人、助けてくれる人がいること
- 一緒に働いていると感じる仲間がいること

- 生活相談と生活支援には必ず関わること
- 尊敬する企業経営者の言葉を心の拠り所として

「経営は、経験したことのない未来との闘いであり、常に祈るような気持ちで意思決定することの繰り返しです」

「世の中に役立っている企業は、世の中がつぶさない」

・いい言葉を支えに・・・

「いい人たちに囲まれなさい。自分から求めて、いい人たちに近づいて、そこに身を置きなさい。そしてその環境を大切に育みなさい。そうすると、自
ずと自分自身が磨かれるから」

(高倉健)

「世界は苦しみに満ちているが、それに打ち勝つものにも満ちている」

(ヘレンケラー)

*The best way to cheer yourself up is
to try to cheer somebody else up*

「自分を元気づける一番良い方法は、
誰か他の人を元気づけてあげることだ」

Morhuär

